【阪急阪神不動産株式会社 2024年度 健康経営戦略マップ】

健康課題

【生活習慣病】
・40歳以上の健康診断結果で特に脂質異常の有所見者の割合が高い
2023年度実績：全体有所見者：55%
（2022年度：47%）
脂質異常有所見者：44.6%
（2022年度：47.7%）

・食生活習慣リスクのある従業員の割合が高い
2023年度実績：51%(2022年度：49%)

・運動習慣リスクのある従業員の割合が高い
2023年度実績：47%(2022年度：46%)

・年間法定外労働時間**360時間超**の割合が高い
（睡眠習慣リスクのある従業員が増加）
2023年度実績：29%(2022年度：21%)

【喫煙】
・喫煙率が全国平均よりも高い
2023年度実績：18.4%
（2022年度：22.3%）

【女性の健康】
・女性特有のがん検診受験率が全国平均よりも低い
2023年度実績：42%
(2022年度：44%)

【メンタルヘルス】
・ストレスチェックの全社総合健康リスク値が横ばい
2023年度実績：85(2022年度：85)
・高ストレス者の割合が増加傾向
2023年度実績：8.9%(2022年度：8.1%)
・メンタル事由による休職者が横ばい
2023年度実績：1.1%(2022年度：1.4%)

健康投資

赤字は2024年度の新規取り組み
下線はHHP単体での取り組み

【高リスク者へのアプローチ】
・特定保健指導の利用勧奨の強化
・AIを活用した特定保健指導の実施
・健康管理システムを導入し要治療/要精密検査該当者への迅速な受診勧奨の実施と保健師によるフォロー面談
・再検査該当者へ検査受検の徹底
・保健師による保健指導（重症化リスク者等）

【海外赴任者へのアプローチ】
・赴任中の健診結果に対するフォロー
・赴任前健診結果に対する保健師との面談を実施

【全従業員へのアプローチ】
・健康に配慮した給食弁当や健康食品の提供等、食生活の改善に向けた取り組みの実施
・ウォーキングイベント等の健康イベントの実施
・適切な労働時間管理とDX推進による業務効率化や採用人数の増加等の業務負荷軽減策の実施

【喫煙率低下への取り組み】
・禁煙外来受診の費用補助、禁煙薬剤の購入費補助
・禁煙応援動画の配信
・就業時間中の禁煙化の実施(2024年4月より)

【女性の健康推進】
・婦人科がん検診（乳がん・子宮頸がん）の費用補助
・女性の健康セミナーの実施
・女性の健康管理アプリ(Moonly)の利用促進

【メンタルヘルス推進】
・ストレスチェック集団分析結果を活用して、課題のある部署への個別フォローの実施
・提携カウンセリングルームの活用
・メンタルヘルスセミナーの実施
・ハシゴ計画による社内横断イベントや部署紹介セミナーの実施、サークル支援制度による等の社内コミュニケーション活性化促進
・休職者の復職時に保健師による面談の実施

健康投資効果　※ 赤字は各課題に対するKPI

健康投資施策の取組状況に関する指標

- 定期健康診断受診率の維持（100%）
- 特定保健指導実施率向上（80%以上）
- 健康に配慮した給食弁当や健康食品の購入者数の増加
- ウォーキングイベントへの参加者数の増加
- 各部管理職への勤怠情報共有（毎月1回）長時間労働者の注意喚起（毎月2回）
- 禁煙支援策利用者の増加
- 健康セミナー参加者の増加
- 女性の健康管理アプリ利用者の増加
- 課題部署へのフォローの増加
- セミナー・研修参加者数の増加

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標

- 健康診断有所見者率の低下 **40歳以上（全体：60%以下 脂質異常：45%以下）**
- 食生活習慣リスクのある従業員の割合の低下 **（40%以下）**
- 運動習慣リスクのある従業員の割合の低下 **（25%以下）**
- 睡眠習慣リスクのある従業員の割合の低下 **（年間法定外労働360時間超 25%以下）**
- 喫煙率の低下 **（15%以下）**
- 婦人科健診受診率の向上 **（2年間で100%以上）**
- メンタル事由による長期欠勤者率の減少 **（1.4%以下）**
- 高ストレス者割合の減少 **（8.0%以下）**
- ストレスチェックの全社総合健康リスク値の改善 **（85以下）**

健康関連の最終的な目標指標

アブセンティーズムの低減
※心身の体調不良が原因で、欠勤・休職など業務が行えない状態にあること

プレゼンティーズムの低減
※心身の健康上の問題が作用して、出勤時の生産性が低下している状態にあること

ワーク・エンゲージメントの向上

【目標】
ストレスチェックのWE（※）に関する項目結果について前回調査を上回る

（※）WE
ワークエンゲージメント
仕事に対するやりがいや貢献意欲
2023年度：2.73
2022年度：2.73

（参考）従業員意識調査
仕事・会社等への貢献意欲を測定
隔年実施
2023年度：3.71
2021年度：3.79

健康経営で解決したい経営課題

【経営理念】

・私たちは、沿線を育みながら、国内外で成長し続ける企業グループを目指します。
・私たちは、不動産事業における専門性と幅広い事業領域を有するグループ総合力を活かして、安心で快適な空間・サービスを提供するとともに、お客様の夢・感動の実現に貢献します。
・私たちは、より働きやすい職場環境づくりを進め、従業員のやりがい・挑戦を促し、新たな価値を創出します。

【目指す姿】
安心して働き続けることができる・心身ともに健康で生き活きと働くことができる職場

【健康経営宣言より】
阪急阪神不動産では、従業員やその家族の心身の「健康」が、幸せの源泉であるとともに、グループの豊かな未来の礎であると考えています。また、お客様に、経営理念である『「安心・快適」、そして「夢・感動」をお届けする』ためには、みんなが健康で多様な個性や能力を最大限に発揮することが何よりも大切です。
これを実現するために、私たちは自らの健康に高い意識を持ち、職場の仲間や家族とともに、健康づくりに取り組みます。

【基本情報】

いずれも2023年度末時点の情報

従業員等の男女比率	**男性：64%、女性 36%**
従業員等の平均年齢	**41.8歳**
拠点	**本社：大阪、東梅田事務所、東京事務所、名古屋事務所、海外事務所（海外子会社含む7カ国）**